武雄市立西川登小学校

『校訓』 ただしく・やさしく・たくましく



西つ子 学校だより

19号 令和6年10月30日 文責:校長 小川 修

Try&Error&Cheer

凡事徹底とトライ&エラー&チアーの具体的な姿 を見せてくれた 5年生の宿泊学習!

目隠しで進む「暗黒の世界」、不安定なロープの上を歩く「モンキーブリッジ」、急な岩場を上り下りしな がらただただ歩く山道、そして、いくつもの課題を乗り越えた最後は4~5メートルほどの垂直に近い崖を 1本のロープを頼りに降りる「レインジャー」。ここは、まさに怖さとの闘いの場所です。回避ルートも提 示されていたので、"するか" "やめるか" の判断が必要なところでした。しかしながら、全員がチャレンジ して、やり遂げたのです。

10月24日(木)・25日(金)の一泊二日、山内町にある黒髪少年自然の家で5年生が、宿泊体験学 習に取り組みました。保護者様の中には、小学生や中学生の時に黒髪少年自然の家に行った経験がある方も おられるのではないでしょうか・・・。

主な活動は、「わんぱく大冒険」「夕食作り」「キャンドルの集い」「クラフト活動」でした。なかでも「わ んぱく大冒険」は、楽しさ・きつさ・こわさなどの感情や感覚が入り混じるアスレチックプログラムです。 子ども達の姿は見えないけれど、山頂にいる私の耳に届く声は、「だいじょうぶ?」「ここ気を付けて!」と 仲間を思いやる声や元気な笑い声でした。

この二日間の子ども達の様子を見ていて、協力することの意味を知り、自分がきつい時でも人のことを気 にかけてあげる優しさを発揮できた子ども達の、来年が楽しみになりました。



さあ!出発だ



頂上の"とんがり岩"



恐怖心に打ち勝つ!





まき割り、火起こし、野菜の下準備、料理 ばっちり出来上がったご飯とカレーで満腹の夕食



誓いを立てたキャンドルの集い 楽しいゲームで盛り上がりました!







Eh.







2日間の宿泊学習をやり終えた子ども達の表情は、とても良かったです。

「きつかった~、でも、楽しかった~」という最高の言葉を 残してすべてのプログラムを終了しました。

これだけでは紹介しきれない表情の数々。7人という少なさを感じさせない、一人一人が行動力を発揮した5年生でした。